

# 令和8年度 入学式式辞

学 長 森 下 宏 美

新入生のみなさん、北海学園大学へのご入学、おめでとうございます。教職員一同、心より歓迎いたします。また、今日まで新入生のみなさんを温かく見守り、お支えくださったご家族、関係者のみなさまにも、心よりのお祝いを申し上げます。

本日、学校法人北海学園理事長山崎省一様をはじめ、ご来賓のご臨席のもと、令和8年度北海学園大学入学式を挙行できますことを、たいへん嬉しく思います。

北海学園大学の歴史は、1950年、前身である北海短期大学の設立に始まります。その2年後に4年制の北海学園大学となり、以来今日に至るまで、北海道に根差した高等教育機関として歩み続けてきました。さらに遡りますと、北海学園の起源は、1885年創立の北海英語学校にまでさかのぼります。札幌農学校第3期生の大津和多理は、北海道の若者に、将来の社会の担い手となるにふさわしい高度な教育を授けたいとの情熱のもとに、北海英語学校を設立しました。

この情熱は今も変わってはいません。本学は、建学の精神として、「開拓者精神」そして「自立と自律」とを掲げ、長年にわたって北海道における高等教育を担ってきました。卒業生は約10万人にせまり、活躍の場を国内外の各界に広げています。文字どおり北海道に根ざした大学として、地域社会の担い手を数多く輩出するとともに、多分野における豊かな才能を育ててきました。その歴史と実績に、私たちは大きな誇りを持っています。本日、大きな可能性を秘めたみなさんを本学にお迎えすることができましたことは、私たち教職員にとって何よりの喜びとするところです。みなさんには、これからの4年間を、自らのよき人生を築くための有意義な時間として過ごしてほしい、そして、それぞれの人生が、よりよい社会の実現と重なるものであってほしいと願っています。

現在、高等学校の教育では、総合的な学習としての「探究」に取り組んでいます。変化の激しい現代社会に生きる者として、どのような未来を創っていくのか、どのようにして社会や人生をよりよいものにしていくことができるか、この問いに対して、多様な他者と協働しながら、みなが納得できる答えを見出していくこと、これが「探究」という学習の目的です。この「探究」の営みこそ、みなさんの大学におけるこれからの学びの中心となるものです。大学ではこれを「研究」と呼びます。

大学にはたくさんの研究者が集っています。大学の教員はみな研究者です。それぞれの「問い」に向き合い、答えを求めて日々研究しています。研究者は、自らの「問い」に対して、他者が納得する理由や根拠にもとづく答えを導こうと努力していますが、そのようにして導かれた

答えは、もはや研究者本人だけのものではなく、人々に共有される知恵となり、新しい可能性を切り拓く社会の力となります。

よりよい社会を築いていくためには、新しい知恵の創造と、その知恵を活かす人々の協働が必要ですが、それを阻む現代特有の壁があるように思われます。急速に発展し普及しつつあるSNSやAIは、仕事や生活の利便性を高める一方、ややもすると社会に分断を生じさせかねない言説や精巧に作られた偽情報が、瞬時にかつ広範囲に飛び交う事態を生み出しています。そのような時代であるからこそ、みなさんには、研究する心と力を是非とも身につけていただきたいと思います。

いまここに約2,200名の同期のみなさんが集っています。いまはまだ互いに見知らぬ者同士ですが、生涯の友となる人との出会いが必ずあります。私たちは人生のいろいろな段階でさまざまな友と出会いますが、大学時代においてこそ出会いたいのは「問いを共有する友」です。自分と同じ「問い」に取り組む仲間、あるいは、それぞれの「問い」に向き合う努力に共感し合える仲間のことです。そして、「問いを共有する友」は、年齢を問わず、そして国籍を問わず求めることができます。是非、そのような友と出会ってください。

私たちが暮らす社会は、いま大きな転機を迎えています。少子・高齢化、人口減少、地球温暖化、国際秩序の不安定化などによって、これまで私たちが当たり前享受できていたものも、簡単には手に入れることができなくなるかもしれません。みなさんは、将来どのような分野に進むにせよ、人生の大半を通して、この新しい現実と向き合い、持続可能な社会を作り上げていくために挑戦し続けていくこととなります。それは一人の力でなしえることではありません。知恵を出し合いながら協働する人々のつながりが必要です。みなさんには、それを主体的に担っていくことができる人として育ててほしいと思います。

本学は、「常に真理を探究する構えと専門の学知に支えられた高い道義性と知性を兼ね備え、自己のキャリアの持続的発展と他者との自由な連帯を通し、未来を切り拓くパイオニアの育成に努める」ことを教育の目標としています。私たち自身もまた、みなさんと「問いを共有する友」として、よい社会の実現に取り組んでまいります。

学問との出会い、友との出会い、そして、自分自身の新たな可能性との出会い。大学はさまざまな出会いに満ちた場です。その出会いを喜び、そして楽しみ、本学での4年間を実り多い時間として過ごしていただきたいと思います。そして、私たち教職員一同、そのための努力を惜しまぬこととお誓い申し上げ、式辞といたします。